

廃材を活用した木工品の製作販売

伊那・美和貯木場グループ◎黒田 勲
福 島 今朝雄

要 旨

森林資源を有効に活用し、職員のアイデアと、手待時間により、小木工品等を製作販売して、収入の確保を図るものである。

はじめに

近年、国有林野事業は、木材価格の低迷などにより、厳しい財政事情に直面し、その建て直しが緊急の課題となっているところである。

こんな財政事情を、少しでもカバーすることができないものかと、貯木場職員で話合ったところ、その中から出てきたのが、奇形木や空洞木などの、廃材となるようなものを利用して、花台等の木工品を作って販売できないかという事であった。

そして、早速業務の合間に製作にとりかかったが、道具もなく、もちろん基礎的な知識もなく、木材の特性である日割れについても、自然乾燥後日割れ防止剤を塗るという、ごく初歩的な試行錯誤を繰り返しながら、製作に取組んできた。

ここに、品目、製品姿等未完成の中にも、自信のもてる製品作りができるようになったので、いままでの反省と成果をここにまとめ、更に創意工夫して、新製品の開発と、お客様のニーズに合わせた製品作りに努めたいと考えている。

I 開発・改良経過

当署は、南アルプスの天然林のモミ、ツガを主体に生産しているが、腐れや空洞材が全体の約20%を占めており、これらはパルプ材として販売している。その他のパルプ不向材は、林地存置等により処理されてきた。

この廃材を利用して、木工品の製作をはじめたのは、昭和59年である。この年は輪切り材のチェーンソーの型跡跡を、電気鉋で化粧しただけの屋外盆栽用花台と灯籠を製作したが、未熟なため灯籠は売れなかった。

60年は、59年度の製作販売の反省に基づいて、屋内用木工品の製作を主体に、透明ラッカー等による仕上げをするなど改良し、又品目も多くなってきた。61年は、型等更に改良を加えるため、職員目から現地に出向き、資材さがしをするなどして、新製品の開発とモデルチェンジに挑戦し効果をあげてきた。

II 実行結果

表-1・2のとおり

III 製作に伴う問題点

1. 業務の手待時間を利用するため、材料調達が困難であった。

表一 製品別・年度別の販売数量及び金額

(単位千円)

品名	花台	灯ろう	飾物	一輪さし	揚枝さし	つい立	壁かけ	置もの	木の楯	すりこぎ	足踏	輪材	切材	表札	木鉢	計
59	数 97														20	117
	額 84														4	88
60	数 151	37		11			16						69	5		289
	額 154	228		10			12						96	5		505
61	数 210	51	9	31	16	10		12	6	10	1	860	28			1,244
	額 253	6	53	66	3	196		20	8	5	1	94	35			850
主材料 樹種	イチイ	ナラ・シナ	ミズメ	シラカバ	イチイ	カエデ	イチイ	サワラ	ヤマクワ	サンショウ	サンショウ	シラベ	コメツガ	イチイ	サワラ	1,650
																1,443

2. 廃材の活用であり、量的質的に制限される。
3. さらに亀裂防止対策の工夫を要す。
4. お客様の求める、製品情報を収集する必要がある。
5. 製作器具が専門的でなく工夫を要す。
6. 販売ルートを確認する必要がある。

おわりに

以上3年間にわたる、木工品の製作・販売等を通じて、お客様のニーズに多様化のあることを知った。都市型、地方型、形の大小、着色したものか、白木のものか等これらについては、今後更に多くの情報を収集し、業務の片手間の利用ではあるが、一層創意工夫をこらし、新製品を開発し、わずかではあるが収入の一助にしていきたいと考えている。

この販売に当たっては、営林局署の皆さんのご協力を得たものであり、厚く感謝するとともに、今後のご教示をお願いする次第である。

表二 年度別・販売先別の数量金額

年度別	販売実施先	数量(個)	金額(円)
59	松本市合同即売会	81	56,000
	長谷村ふるさと祭り	16	14,000
	常時販売	20	18,000
	計	117	88,000
60	諏訪地区緑化販売	86	131,400
	国際森林年「森の市」信州グリーンフェスティバル	65	215,400
	長谷村「南アルプスふるさと祭」	88	90,600
	長谷村姉妹都市「福田町」	26	35,700
	常時販売	24	31,500
	計	289	504,600
61	木工品即売会「松本会場」	48	121,800
	“ 「長野会場」	21	33,200
	森の市「東京」	16	26,600
	“ 「松本市」	32	61,100
	信州ふるさと祭	20	48,500
	長谷村「ふるさと祭」	97	231,700
	長谷村姉妹都市「福田町」	15	20,070
	東京インテリア「櫛の木店」	860	94,600
	長野駅前	50	36,900
常時販売	85	175,530	
	計	1,244	850,000
	合計	1,650	1,442,600